

9月定例会都市住宅常任委員会での質問報告

令和7年大阪府議会都市住宅常任委員会において、茨木市のような大きな課題である交通渋滞対策を中心に質問を行いました。



Q1 モノレール彩都西駅からの代替交通

モノレール彩都西駅から東部地区へのモノレール代替交通について、バスの交通検討も含めて進捗を伺う。

A 今年度から茨木市やバス事業者などと、バス導入の可能性に向けた検討を進めていく。



Q3 イコクル周辺の渋滞対策

府道茨木寝屋川線・野々宮2丁目交差点で、大型車の右折待ちにより渋滞が発生している。府の渋滞対策の考え方を伺う。



A 交通量調査を実施し、結果を分析した上で現状を確認し、必要に応じて渋滞対策を検討する。

Q2 箕面市の大型開発に伴う協議会の設置

箕面市川合・山之口地区の大型開発で周辺道路の渋滞が懸念されている。交通対策を話し合う協議会の設置について、大阪府の考えを伺う。

協議会は箕面市が主体で設置されるものと認識し、府も参画して交通影響を最小限に抑えるよう対応する。

Q4 長ヶ橋北詰交差点の交差点改良

府道茨木亀岡線・長ヶ橋北詰交差点付近での渋滞対策として、交差点北側の車線拡幅など、府としての渋滞対策の考え方を伺う。



交通量調査を実施し、結果を分析の上、安全面にも配慮しながら必要に応じて渋滞対策を検討する。

Q5 中河原南口交差点の渋滞対策

府道余野茨木線・中河原南口交差点では頻繁に渋滞が発生している。左折レーンの増設など、府としての渋滞対策の考え方を伺う。

A まずは、ビッグデータで交通を分析し、結果を踏まえ関係機関と連携して、迂回誘導などのソフト対策を検討する。



Q8 トラックの休憩場の整備

府内では休憩や時間調整の場がなく、トラックが路上に溢れている。大阪府として、広域的に休憩・待機スペースを整備すべきではないか。

A 物流施設内の待機場所確保を促し、国の取組と連携。大型車休憩所の整備も進め、必要性を関係部局で検討する。



Q6 都市計画道路 茨木寝屋川線の進捗

府道八尾茨木線から市道東西通りまでの都市計画道路茨木寝屋川線の整備事業の進捗と今後の見通しを伺う。



A 約 1.2km 区間を先行整備として事業認可を取得。地元と連携し、用地取得や設計を進め着実に整備を推進する。

Q9 安威川河川敷の100mトラックのターチン化

安威川河川敷公園の 100m トラックをターチンにできないかと思っている。そこで、ダム完成後の冠水頻度の変化と、ターチン舗装化への府の対応を伺う。

A ダム運用後、冠水は年 2.5 回から 1.5 回に減少。市から要望があれば、治水上の安全を確認し協議に応じる。



Q7 鳥飼仁和寺大橋の無料化

鳥飼仁和寺大橋は無料化予定を 10 年延長し、府民負担が続いている。附帯決議の 3 項目（利用促進・収支確認・道路整備）への対応状況を伺う。



A 広報強化や経費削減で目標の債務圧縮を達成。周辺道路整備も進めており、引き続き経営改善とネットワーク整備を推進する。

Q10 市街化調整区域の編入

茨木市玉島・平田地区では、地権者によるまちづくり協議会が設立された。市街化調整区域を市街化区域へ編入する際の今後の進め方を伺う。

A まず市と地権者の合意形成が必要。方針変更後は都市計画や農振除外の手続きを経て、要件に応じて編入を検討する。